

JFSC第2代会長 谷口一郎氏を偲んで

JFSC第2代会長をつとめられた谷口一郎氏が2009年11月1日に急逝された。享年72歳であられた。



谷口氏は三菱電機株式会社社長、会長を歴任され、ご逝去前は相談役の任にあられた。会社の経営トップであられながら、宇宙関連では1997年以来、経済団体連合会・宇宙開発利用推進会議会長(現・日本経済団体連合会・宇宙開発利用推進委員会委員長)を約12年の長きにわたってつとめられ、我が国の宇宙開発利用の推進政策の展開、国の安全・安心や防衛面での宇宙利用の推進、さらに宇宙基本法制定のための産業界からの支援等、宇宙を国と国民のために役立て、宇宙産業を国の基幹産業となすための活動の先頭に立ってご尽力をされた。この間、超高速インターネット衛星や準天頂衛星等、我が国が世界をリードする通信関連衛星プロジェクトの予算化や、リモートセンシング情報収集分野への衛星の本格活用の開始等は、わが国の産業界を率いた谷口氏のご尽力を抜きにしては語れぬところであろう。

JFSCにおいては、2001年9月より2003年9月まで第2代の会長をつとめて頂いた。この間2003年4月には、我が国で2回目の「AIAA 国際通信衛星システム会議」(ICSSC)が横浜にて開催され、谷口氏はJFSC会長と幹事会社の三菱電機のトップというお立場で、寄付を頂く会社のトップへ内々に声をかけて頂くなど、縁の下の力持ちとして業務面を強かにサポート頂いた。また、会議冒頭には“*The Impact of Satellite Communications on Information Infrastructure*”との表題にて、21世紀の情報通信インフラの中で衛星通信の果たすべき役割と展望について、注目すべき基調講演を行なって頂いた。

谷口氏はこの10年余にわたって、日本の宇宙産業界の核になってこられた方であるだけに、この重要な時期に今後益々お力を頂くべきところ、このたび早逝されたことは誠に痛恨の極みであり、謹んでご冥福をお祈り申し上げますものである。

(JFSC 編集特別顧問 植田剛夫)



▲ ICSSC-21 開会式控えの間にて、来賓のジョージ・ワシントン大学ヘルム教授、ペルトン教授と歓談される谷口氏、右手前は植田編集特別顧問(03年4月)



▲ AIAA-JFSC アワード授賞式にて、右よりヘルム教授、JSAT 吉田氏、谷口氏、植田氏、飯田氏(03年4月)